



じゃがいもずきん
「ききぼう」くん

吹雪の際に車のタイヤが埋まり、動けなくなった場合に気を付けなければならないことの1つが一酸化炭素中毒です。
一酸化炭素は無色・無臭であるため気づかぬうちに車内に充満し、死に至る危険があるため注意が必要です。

雪に埋もれた 車の中は危険です



原則エンジン停止



一酸化炭素中毒の危険性



エンジンをかけるときは



窓を開けていても絶対安全とは言えません



車が雪に埋まったときの注意事項

換気 かつむりの外気導入で かえって危険になることも

外気取入口が雪が積もった状態で外気導入にすると、エンジンルームなどから車内に排気ガスを吸い込んでしまう場合があります。



内気循環 でも排気ガスは 車内に入り込む

車にはいたるところに隙間があるため、内気循環にしていても排気ガスは車内に入り込みます。



一酸化炭素 警報器 は注意喚起 に有効

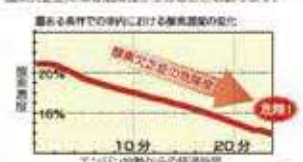
一酸化炭素中毒は自覚することが困難なため、音や光で危険を知らせてくれる一酸化炭素警報器は、中毒事故防止の注意喚起に有効です。

警報器の通信は駄物！
故障や電池切れの場合などもあるので、警報器が鳴らないからといって絶対安全だとは言えません。



酸素欠乏症 になる 危険も

車の埋まりかたなどの条件によっては、車内の酸素がエンジンの燃焼に使われることで酸素濃度が低下して、酸素欠乏症になる危険性があります。



エンジンスターター での暖気運転 にも注意

車が雪に埋まったままエンジンスターターで暖気運転を行うと、車内が危険な状態になってしまう場合があります。



ものしりアレコレ

一酸化炭素(CO)は、無色・無臭
一酸化炭素は、無色・無臭なので中毒に気づかないことも多いですが、中毒により死に至る危険もある毒性が極めて強い物質です。

酸素欠乏症もまた危険なことが分かって、症状が重い場合には死に至る危険もあります。

CERI 独立行政法人 土木研究所
寒地土木研究所
技術開発調整部 寒地特殊技術チーム
〒002-8502 札幌市東区平野1条3丁目1番34号
TEL:011-590-4049 FAX:011-590-4054
<http://kikai.ceri.go.jp/>

冬道運転の必需品 ～万が一の立ち往生に備えて用意しておくもの

車内備蓄品

車で出かけるときに積んでおくもの

- スコップ
- 長靴
- 懐中電灯
- 地図
- 牽引ロープ
- 携帯トイレ用品
- 防寒具（毛布、上着、手袋等）

常時携行品

外出するときに常に持ち歩くもの

- 携帯電話
- 使い捨てカイロ
- 携帯食料（飴など）
- 飲料水
- 携帯ラジオ
- 連絡先メモ
- 携帯電話充電（乾電池・充電タイプ）



吹きだまりによる レッカー移動などは	事故や人命救助など 一刻を争う場合は	道路管理者への問い合わせは
JAFロードサービス 救援コール ☎ 0570-00-8139	携帯電話から、局番なしの110番（警察）または119番（消防）を押して、発信ボタンを押す（最寄りの警察・消防に繋がります）。	町道 中標津町役場…………… ☎ 0153-73-3111 道道 釧路建設管理部 中標津出張所…………… ☎ 0153-72-3213 国道 釧路開発建設部 中標津道路事務所… ☎ 0153-72-3221

詳しくは、総務課 防災係まで。